

武士の政治が始まる

争いごとの解決に武力が必要となり、武器をもった人たち。武術の腕をかわれ、天皇や貴族にやとわれ、手がらを立てることで地位を固めていった。



武士 があつまった組織を

武士団



桓武天皇の血をひく
清和天皇の血をひく

平氏
源氏



源義経 (源氏)

V S



平清盛 (平氏)

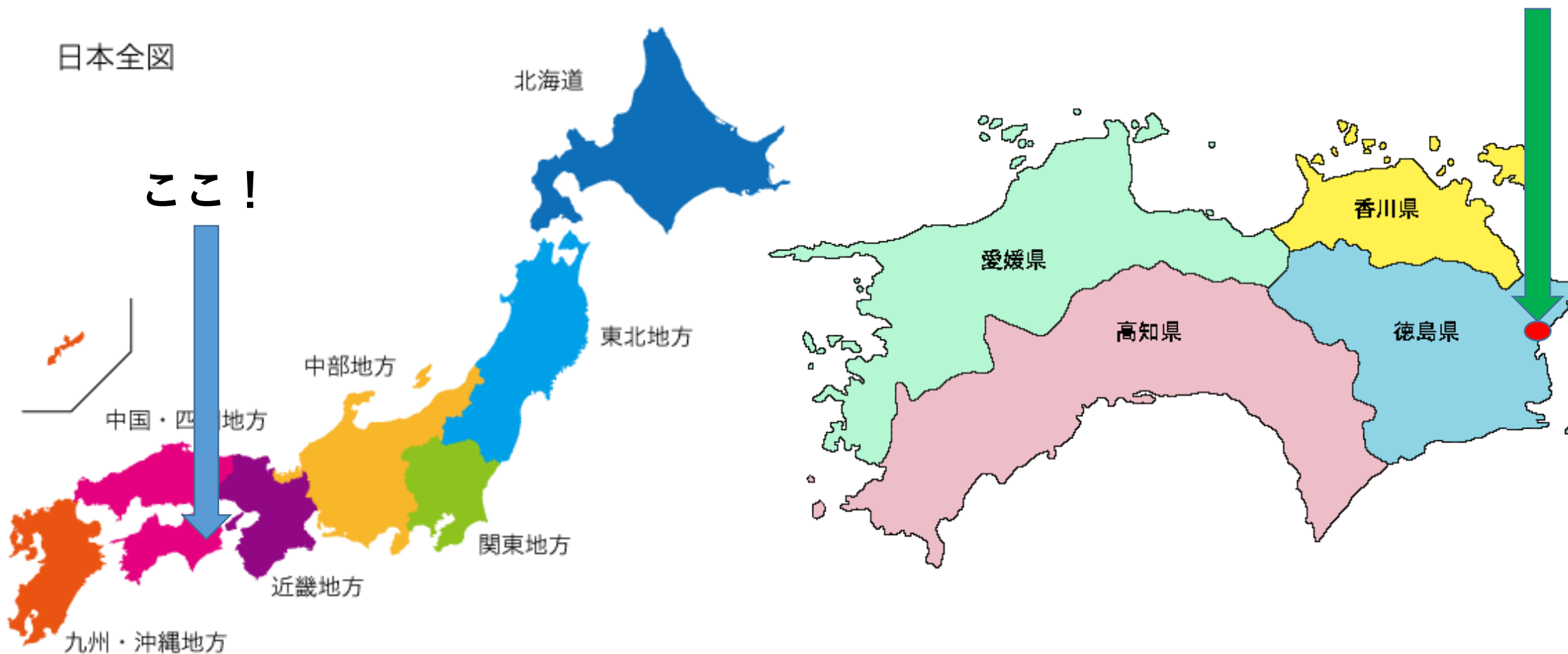
武士で初めて 太政大臣

関係ある場所 巖島神社

ちょっと話それまーす！

先生が生まれ育ったのは、**徳島県小松島市**

こちらへん！



実は、さっきでてきた**源義経**が立ち寄った場所なんです。



こういう像が建ってます。
先生も見たことがあるというか、
そこで待ち合わせをして
何度か遊んでました。笑

源義経が白旗を立てた場所と言われていて、
「旗山」と呼ばれています。

大阪から小松島まで当時は、2日かかるのに、
約6時間でこれたそうです。

源義経すごい！

1180年	石橋山の戦い	勝者	平氏
1180年	富士川の戦い	勝者	源氏
1183年	倶利伽羅峠 (くりからとうげ) の戦い	勝者	源氏
1184年	一ノ谷の戦い	勝者	源氏
1185年	屋島の戦い	勝者	源氏
1185年	壇ノ浦の戦い	勝者	源氏

最後にクイズ！

① 源義経は、子どものころ何と呼ばれていたか？

ア 牛若兵

イ 牛若帝

ウ 牛若丸

ちょっとした・・・

2才で寺に預けられた義経。

しかし、16才の時、「坊さんなんかやってられるか！」と寺を飛び出して武士になった！！



源頼朝

どんな人だった？

実は、大磯にも来ていた！（今の国府小の近く）
歴史書にもかかれています！

壇ノ浦の戦いで、（**源義経**）が活躍し、
平氏をほろぼした。平氏との戦いに勝った源頼朝には、
多くの武士が（**御家人**）として従った。
頼朝は、有力な御家人を（**守護**）や（**地頭**）
に任命して全国各地に置き、（**武士**）による政治の
体制を整えていった。
1192年、頼朝は（**征夷大將軍**）に任命され、全国の
武士を従える地位についた。鎌倉を政治の中心として、頼朝が
開いた幕府を（**鎌倉幕府**）という。

なんで鎌倉？

三方が山。南側は海。➡ 敵がせめにくく、守りやすい。
京都から遠い。➡ 朝廷から離れる。

➡ **武士が中心となって、
国の政治を動かす時代が始まった。**

ご恩と奉公の仕組み



幕府
(将軍)
鎌倉

領地の支配を認める
領地をあたえる

ご恩

土地

御家人
(武士)
地方



奉公 幕府のために戦う

大事ポイント

源氏の将軍が3代でとだえると、将軍に代わり、政治を行う**執権**という役職についた（**北条氏**）が幕府の政治を進めた。

そして…事件が起こる。（資料集57をチェック！）

幕府の力は朝廷をしのぐようになり、武士の（**法律**）や制度を整えて、ますます強くなった。

1232年
御成敗式目

北条泰時
（初めての武士の法律）